

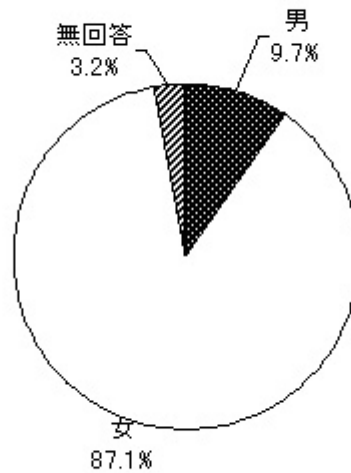
## 第4章 地域活動グループ調査結果

### 1. 回答者の属性

#### (1) 性別

回答者の性別は、女性が87.1%、男性が9.7%となっている。(図表4-1-1)

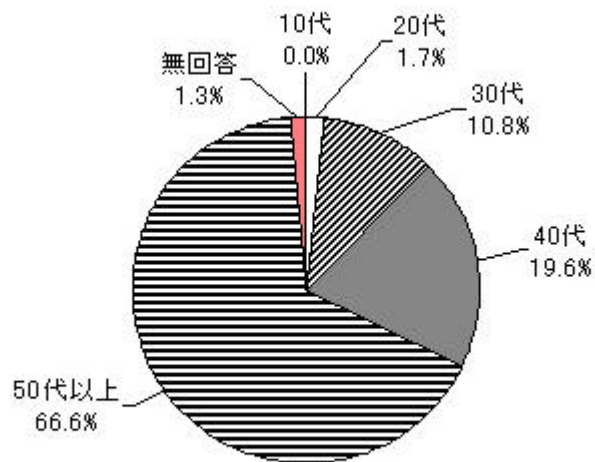
図表4-1-1 性別 (単数回答 n=628)



#### (2) 年齢

回答者の年齢は、50代以上が66.6%と最も多く、40代(19.6%)、30代(10.8%)、20代(1.7%)となっている。(図表4-1-2)

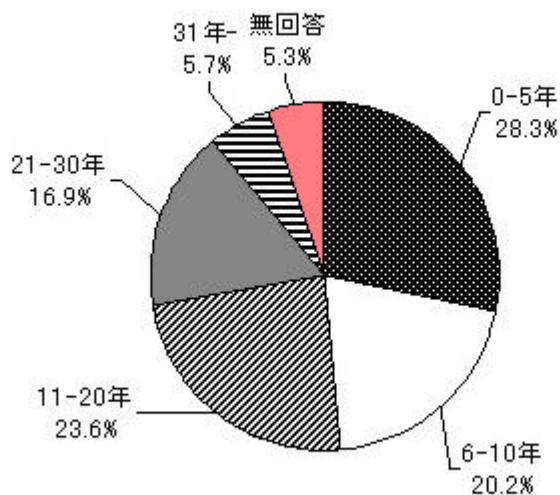
図表4-1-2 年齢 (単数回答 n=628)



### (3) 経験年数

回答者の経験年数は、5年以下が28.3%と最も多く、次いで11～20年の23.6%、6～11年の20.2%などとなっている。(図表4-1-3)

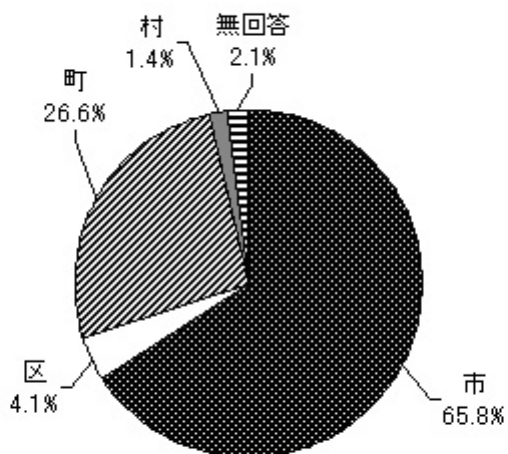
図表4-1-3 経験年数 (単数回答 n=628)



### (4) 居住地

回答者の居住地は、市が65.8%、町が26.6%、区が4.1%、村が1.4%となっている。(図表4-1-4)

図表4-1-4 居住地 (単数回答 n=628)



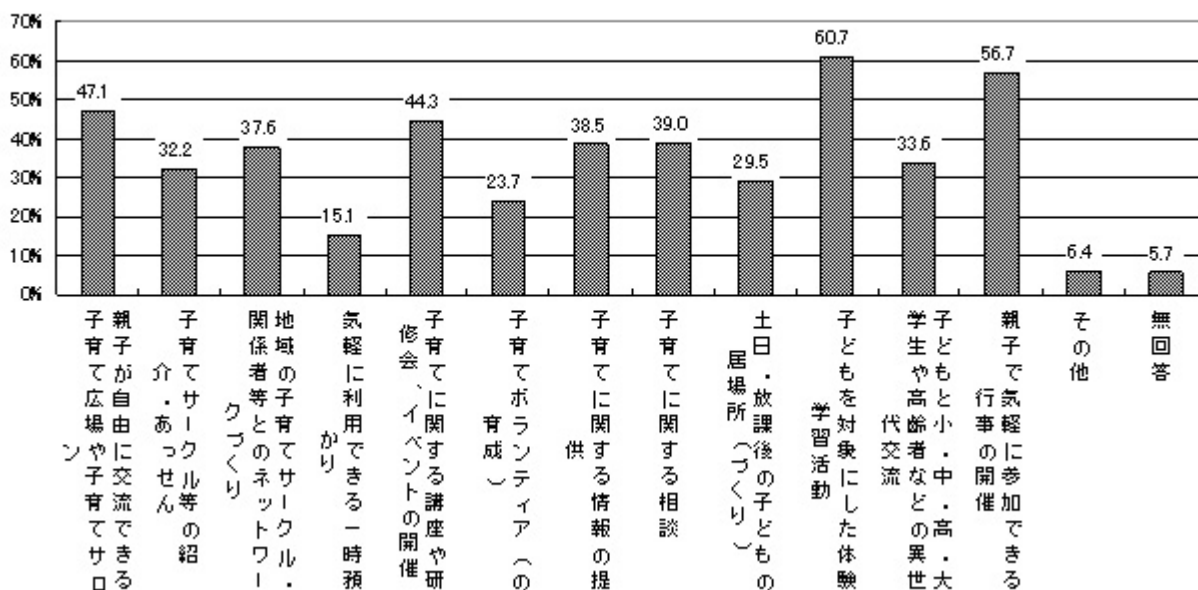
## 2. 子育て支援に関する実施状況と保育・教育関係施設に期待する子育て支援について

### (1)実施している子育て支援

地域活動グループが現在実施している子育て支援については、「子どもを対象にした体験学習」が60.7%と最も多く、次いで「親子で気軽に参加できる行事の開催」(56.7%)、「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」(47.1%)が多くなっている。

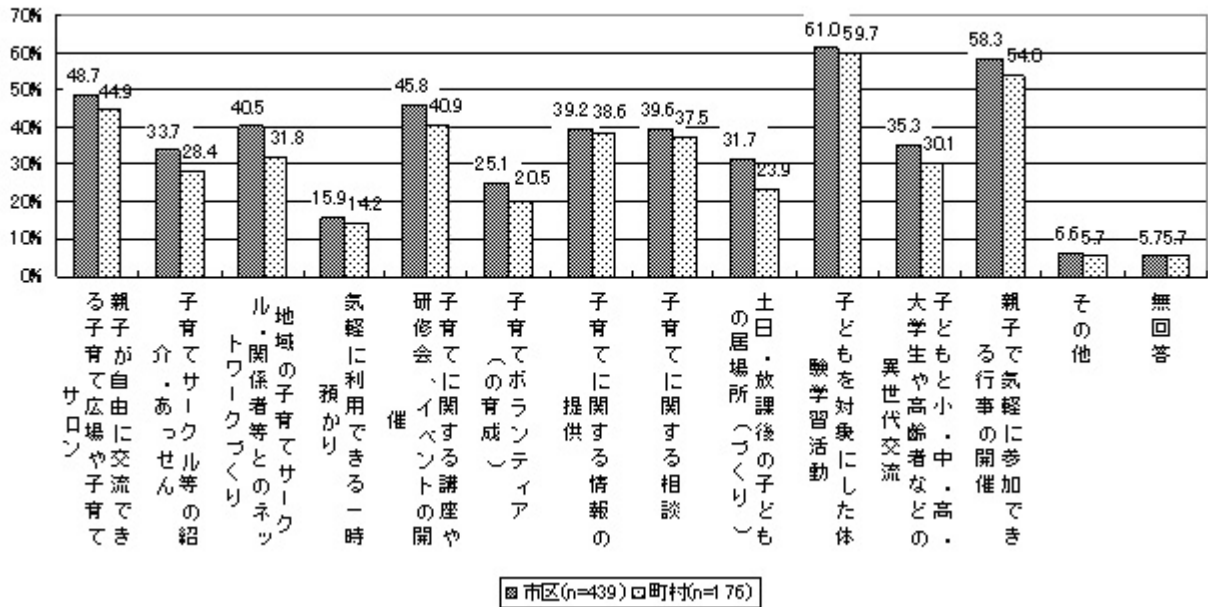
「気軽に利用できる一時預かり」は15.1%と最も少なかった。(図表4-1-5)

図表4-1-5 実施している子育て支援 (複数回答 n=628)



地域活動グループでの実施について、居住地別にみると、市区部と町村部で若干違いがみられたのは、「地域の子育てサークル・関係者等とのネットワークづくり」(市区 40.5%、町村 31.8%)、「土日・放課後の子どもの居場所」(市区 31.7%、町村 23.9%)、「子どもと小・中・高・大学生や高齢者などの異世代交流」(市区 35.3%、町村 30.1%)、「子育てに関する講座や研修会、イベントの開催」(市区 45.8%、町村 40.9%)、「子育てボランティア」(市区 25.1%、町村 20.5%)で、いずれも市区部のほうが実施の割合が町村部をやや上回っている。(図表4-1-6)

図表4-1-6 実施している子育て支援【居住地別】(複数回答)



## (2) 保育・教育関係施設による子育て支援に対する地域活動グループからの期待

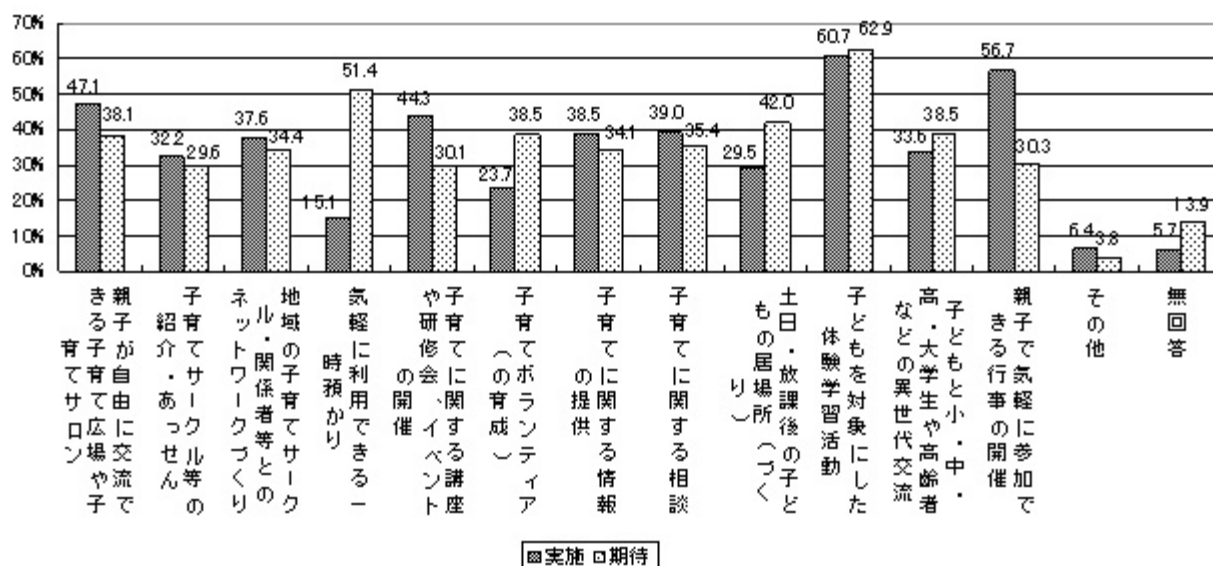
今後の子育て支援において地域活動グループが保育・教育関係施設に期待するものとしては、「子どもを対象にした体験学習活動」(62.9%)と「気軽に利用できる一時預かり」(51.4%)が5割を超えている。

期待と実施の差がみられたものの中で、期待が実施を上回っているものは、「気軽に利用できる一時預かり」(期待51.4%、実施15.1%)、「子育てボランティアの育成」(期待38.5%、実施23.7%)、「土日・放課後の子どもの居場所づくり」(期待42.0%、実施29.5%)となっている。

実施が期待を上回っているものは、「親子で気軽に参加できる行事の開催」(実施56.7%、期待30.3%)、「子育てに関する講座や研修会、イベントの開催」(実施44.3%、期待30.1%)、「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」(実施47.1%、期待38.1%)となっている。

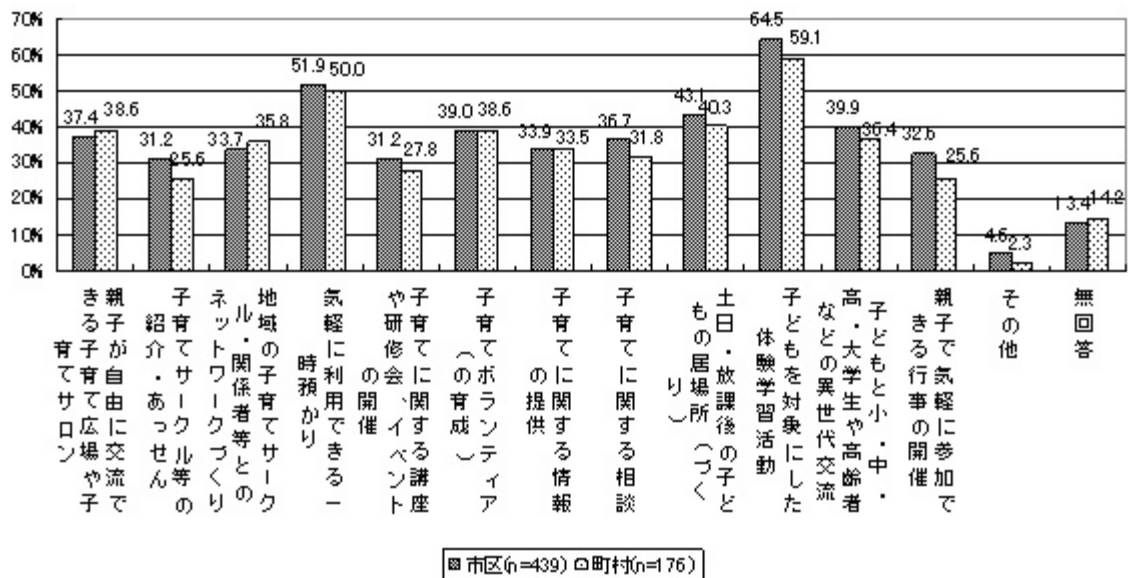
期待と実施がほぼ同じ割合だったのは、「子どもを対象にした体験学習活動」(期待62.9%、実施60.7%)などだった。(図表4-1-7)

図表4-1-7 実施している子育て支援と  
保育・教育関係施設による子育て支援への期待 (複数回答 n=628)



保育・教育関係施設への期待について、居住地別にみると、市区部と町村部でやや違いがみられたのは、「子育てサークル等の紹介・あっせん」(市区 31.2%、町村 25.6%)「子育てに関する相談」(市区 36.7%、町村 31.8%)「子どもを対象にした体験学習活動」(市区 64.5%、町村 59.1%)「親子で気軽に参加できる行事の開催」(市区 32.6%、町村 25.6%)で、いずれも市区部のほうが期待の割合がやや上回っている。(図表4-1-8)

図表4-1-8 保育・教育関係施設による子育て支援への期待【居住地別】(複数回答)

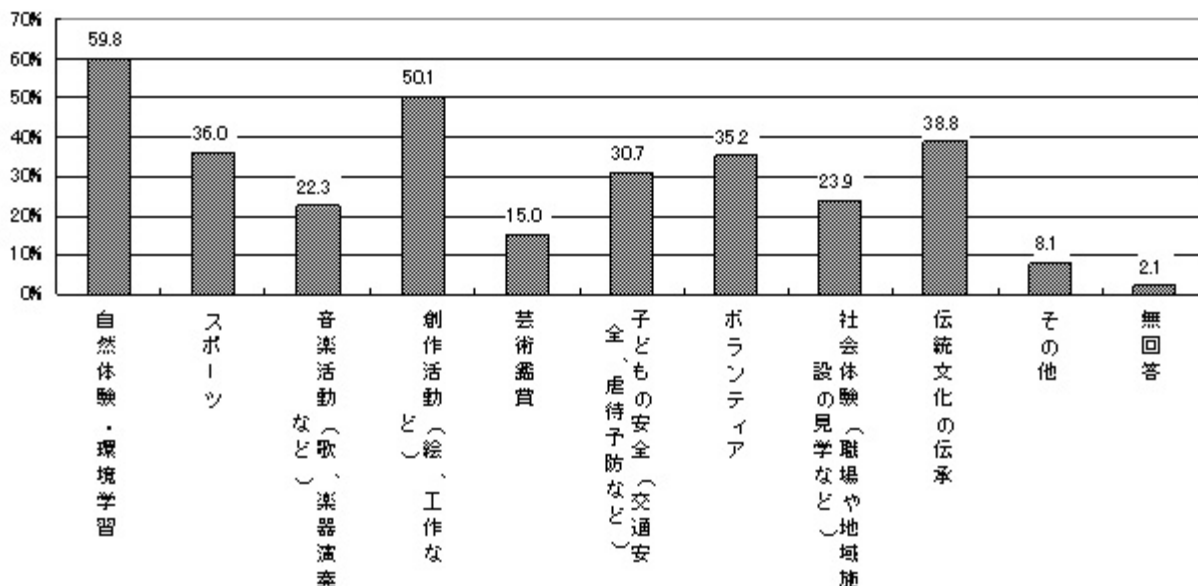


### (3)子どもを対象にした体験学習活動の実施内容

実施している子育て支援の中で「子どもを対象にした体験学習活動」と回答した地域活動グループの人(381人)に、さらに体験学習の内容を尋ねた。

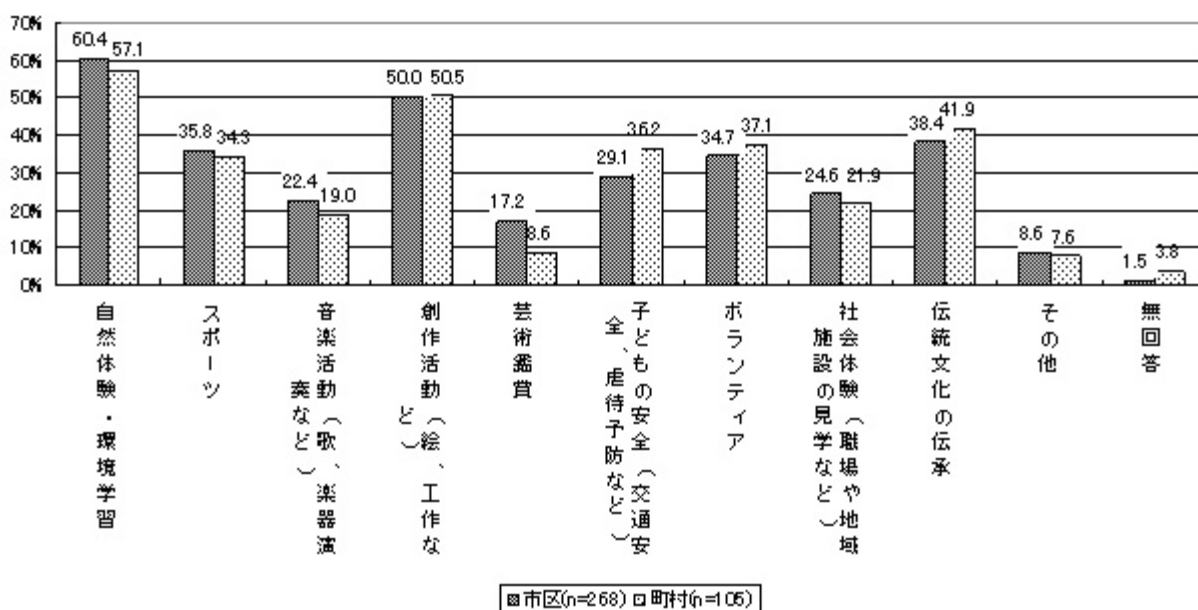
5割を超えるものは、「自然体験・環境学習」(59.8%)と「創作活動(絵、工作など)」(50.1%)のみだった。(図表4-1-9)

図表4-1-9 子どもを対象にした体験学習活動の実施内容 (複数回答 n=381)



居住地別で違いがみられたのは、「芸術鑑賞」が市区部で17.2%、町村部で8.6%と市区部での実施の割合が町村部より高く、「子どもの安全(交通安全、虐待予防など)」が市区部で29.1%、町村部で36.2%と、町村部での実施の割合が市区部より高かった。(図表4-1-10)

図表4-1-10 子どもを対象にした体験学習活動の実施内容【居住地別】(複数回答)



#### (4) 保育・教育関係施設による子どもを対象にした体験学習活動への期待

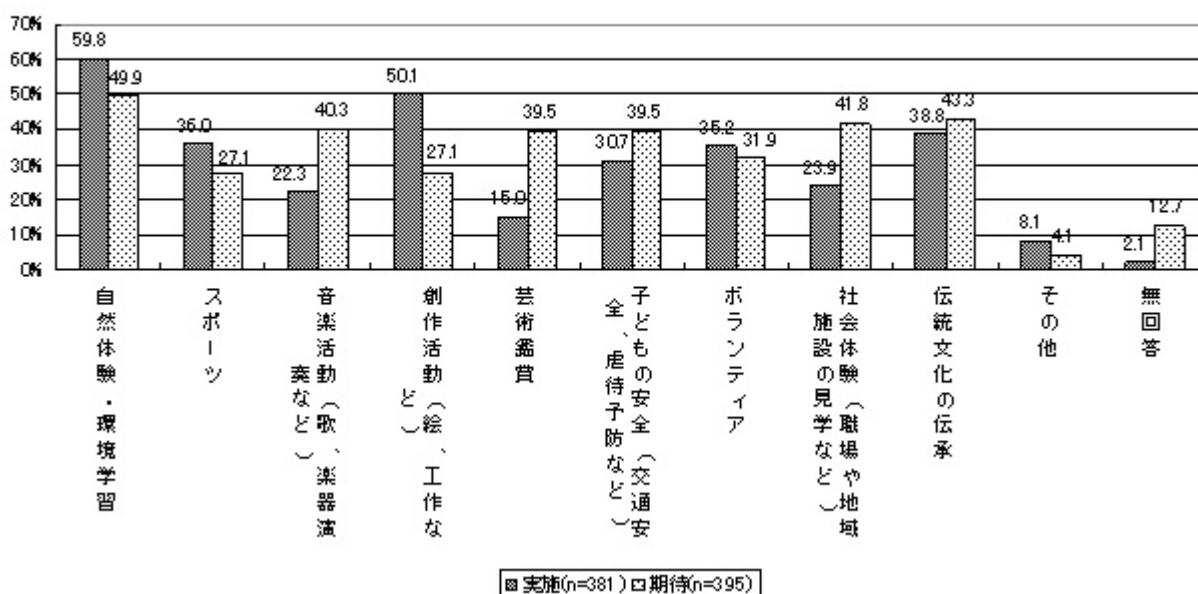
期待する子育て支援の中で「子どもを対象にした体験学習活動」と回答した地域活動グループの人（381人）に、さらに体験学習への期待を尋ねた。

「自然体験・環境学習」が49.9%と最も多かった。次いで「伝統文化の伝承」(43.3%)、「社会体験（職場や地域施設の見学など）」(41.8%)などとなっている。

期待と実施の差がみられたものの中で、期待が実施を上回っているものは、「芸術鑑賞」(期待39.5%、実施15.0%)、「音楽活動（歌、楽器演奏など）」(期待40.3%、実施22.3%)、「社会体験（職場や地域施設の見学など）」(期待41.8%、実施23.9%)。

実施が期待を上回っているものは、「創作活動（絵、工作など）」(実施50.1%、期待27.1%)、「自然体験・環境学習」(実施59.8%、期待49.9%)などだった。(図表4-1-11)

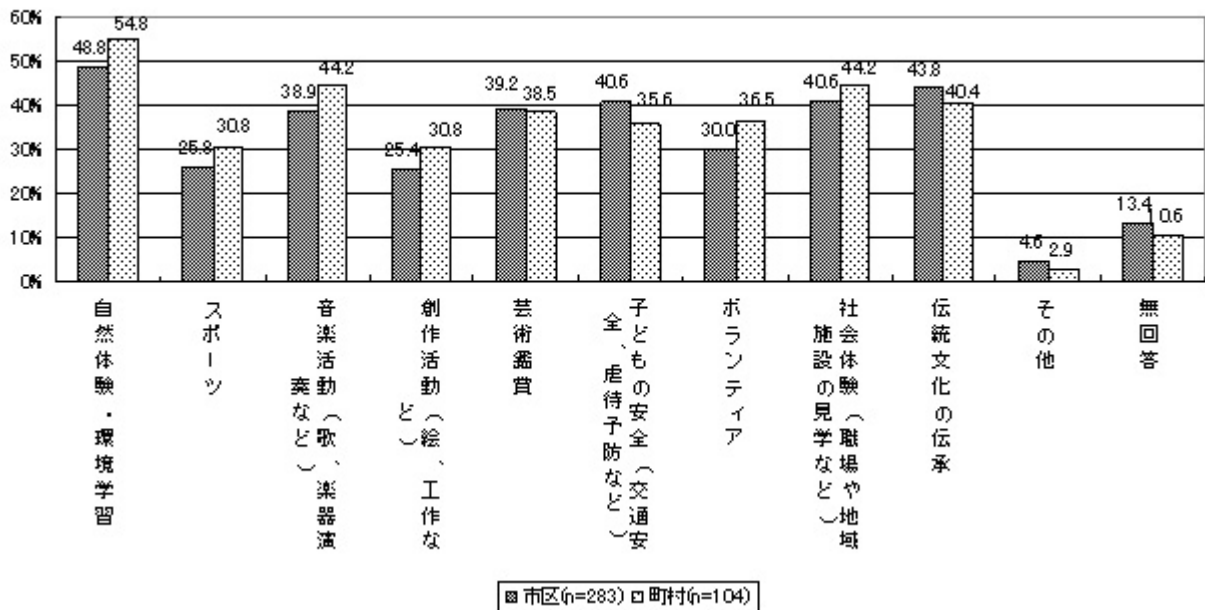
図表4-1-11 子どもを対象にした体験学習活動の実施内容と子どもを対象にした体験学習活動への期待（複数回答）





保育・教育関係施設による体験学習活動への期待について、居住地別にみると、市区部のほうが期待の割合が高かったものは、「子どもの安全（交通安全、虐待予防など）」（市区 40.6%、町村 35.6%）で、町村部のほうが期待の割合が高かったものは、「自然体験・環境学習」（市区 48.8%、町村 54.8%）、「スポーツ」（市区 25.8%、町村 30.8%）、「音楽活動（歌、楽器演奏など）」（市区 38.9%、町村 44.2%）、「創作活動（絵、工作など）」（市区 25.4%、町村 30.8%）、「芸術鑑賞」（市区 39.2%、町村 38.5%）、「ボランティア」（市区 30.0%、町村 36.5%）、「社会体験（職場や地域施設の見学など）」（市区 40.6%、町村 44.2%）、「伝統文化の伝承」（市区 43.8%、町村 40.4%）、「その他」（市区 4.6%、町村 2.9%）、「無回答」（市区 13.4%、町村 0.6%）だった。（図表4-1-12）

図表4-1-12 子どもを対象にした体験学習活動への期待【居住地別】（複数回答）

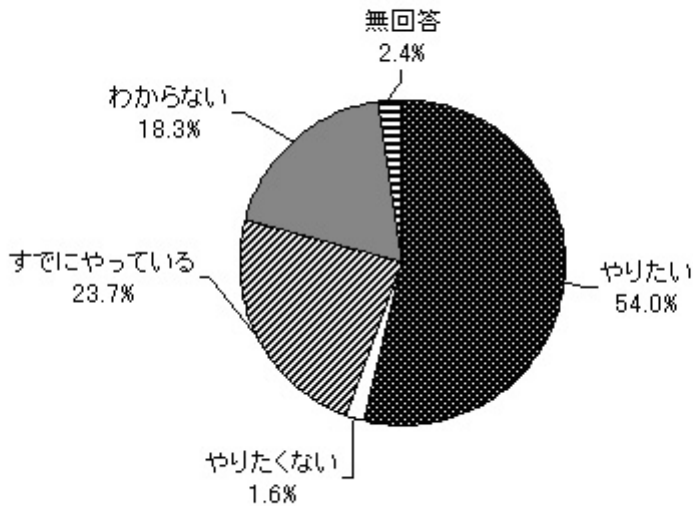


### 3. 保育所・幼稚園・小学校との協力・連携について

#### (1) ネットワーク・協働の希望

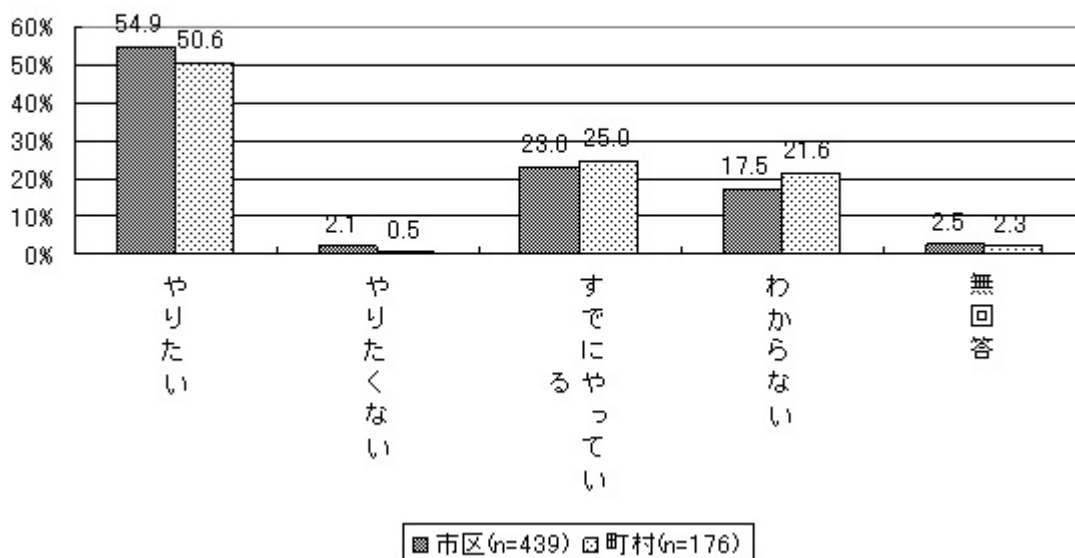
子育て支援における保育所・幼稚園・小学校とのネットワーク・協働については、「すでにやっている」が23.7%あり、「やりたい」が54.0%と、約8割が今後保育・教育施設とのネットワーク・協働に対して希望を持っている。(図表4-1-13)

図表4-1-13 保育・教育関係施設とのネットワーク・協働の希望  
(単数回答 n=628)



居住地別にみても、大きな違いはなく、市区部と町村部のいずれでも、「すでにやっている」「やりたい」を合わせると7割強だった。(図表4-1-14)

図表4-1-14 保育・教育関係施設とのネットワーク・協働の希望【居住地別】  
(単数回答)



## (2) ネットワーク・協働の内容

保育・教育施設とネットワーク・協働して取り組んでいるものについて、主な意見として、次のようなものがあげられた。なお、カッコ内の件数は延べ件数である。

### 1．イベント・行事の開催協力（8件）

- ・ 児童館のイベントの手伝い。
- ・ 公民館との共催事業の実施。
- ・ 児童館まつりを各団体が協力して開催。
- ・ 催し物開催時にポスターの掲示、チラシの配布など。
- ・ 幼稚園の遠足の付き添いなど行事の手伝い。
- ・ 幼、保、小と連携し、老人会、婦人会、民生委員で七夕などの行事を実施。
- ・ 子ども会で自治会の協力を得ながら行事の実施。

### 2．イベント・行事への参加協力（12軒）

- ・ 幼稚園、保育園の子育てサークルやイベントに参加。
- ・ 児童館の行事に協力。
- ・ 小学校行事への参加。
- ・ 地域行事への参加
- ・ 保育園行事への参加。
- ・ 保育園の親子サークル開催の事業に参加。

### 3．交流（4件）

- ・ 園児とのふれあいの集い、学生とのスポーツ交流。
- ・ 児童館との交流、手伝い。

### 4．ネットワーク・合同会議（17件）

- ・ 愛育委員、婦人会、老人クラブなど各種団体による協力体制の確立。
- ・ 育児学級で保育園と婦人会と役割分担。
- ・ 各種団体で子育て支援協議会を作っている。
- ・ 虐待防止のため、公民館、児童館、保育所などと連携し、相談、情報交換、交流の場を設置。
- ・ 協議会があり、話し合いの場、情報交換をしている。
- ・ 子育て支援ネットワーク協議会がある。行政、団体で組織し、講座、子育て支援事業などを実施。
- ・ 児童館を拠点に活動。児童厚生委員が、地域ボランティア、民生委員、老人クラブなどと連携。
- ・ 児童館を利用した子育て支援を、幼稚園、小学校と共同で実施。
- ・ 小学校に呼びかけ、町内会、婦人会、子ども会と協力してふれあい推進事業を実施。
- ・ 青少年育成会議、スポーツ少年団、その他の諸団体との協働。
- ・ ふれあいまちづくり協議会の中で、子育てネットワークをつくり、小学校を拠点とした広場を地域の人々の協力で土曜日に実施。
- ・ 出前保育では、7園がネットワークをつくっている。
- ・ 企画をつくり、学校、児童館と協力してやっている。
- ・ 幼、保、小、中、高の協議会があり、教育推進をしている。

### 5．保育所・幼稚園との協力（20件）

- ・ 保育園や幼稚園で、読み聞かせ、紙芝居。

- ・ 保育園、幼稚園の送迎。
- ・ 保育園児とのふれあい活動。
- ・ 保育園と協働して子育てサロンを実施。
- ・ 保育園の地域活動事業の中で、親子ふれ合いの部屋への親子参加。
- ・ 保育園の保育士が、サークルに来てくれる。
- ・ 保育所と話し合いの機会をもっている。
- ・ 保育所の子育て支援にボランティアとして参加。
- ・ 幼稚園主催の子育て支援事業に協力参加。
- ・ 幼稚園で有資格者とボランティアでサークル活動（遊び・相談）をしている。幼稚園行事にも参加している。
- ・ 未就園児の会を幼稚園で実施。親子で遊ぶ場所を提供。
- ・ のびのび子育て相談の実施。待ち時間に保育所保育士の協力あり。
- ・ 留守家庭児童の教室を実施。幼稚園の教室を借りて実施。

## 6．小学校との協力（42件）

- ・ 5年生で味噌づくり指導。
- ・ 小学校で図書ボランティア。
- ・ 総合学習へ参加、昔遊びを実施。
- ・ 小学校と地域グループと連携し、昔遊び、囲碁教室などを公民館で実施。
- ・ 学校の要請があれば、ボランティアで協力。
- ・ 小学校で工作。
- ・ 小学生と草餅づくり。
- ・ 小学生と交流、料理教室やもちつき大会など協力。
- ・ 小学校で環境学習、リサイクル教育。
- ・ 小学校で環境問題について話したり、夏休みの工芸教室を実施。
- ・ 低学年児に手話を教えている。
- ・ 小学校の多目的教室を利用してサロンを開催。
- ・ 小学校へ出前教室。
- ・ 先生との懇談会を年2回。
- ・ 小学校との協力体制がある。土曜日の小学校の居場所づくりをやっている。
- ・ 月1回、小学校で体験学習を実施。学校で希望者を取りまとめている。
- ・ お泊まり学習。小学生が公民館で5日間合宿し、公民館から通学。その食事づくりに参加。
- ・ 小学校との情報交換。
- ・ 小学校の子育てセンターの活動に参加。

## 7．学童保育での協力（3件）

- ・ 学童保育での環境学習の協力。
- ・ 学童保育に地域公民館で専門の保育士を雇用し、4年生以下、通園児を預かっている。
- ・ 学童保育の子どもと老人施設の訪問、高齢者とのふれあい。

## 8．子育て支援センターでの協力（2件）

- ・ NPO子育て支援センターに、運営面で協力、備品の貸与など。
- ・ 園庭の開放、開放保育、育児相談などを子育て支援センターで実施。

## 9．活動分野別

#### (1)一時預かり(10件)

- ・ 休園児の一時預かり。
- ・ 子育て広場。お母さんの勉強会の時の託児。
- ・ 就学児の放課後ルームのお迎えとその後の保育。
- ・ 就学前保護者対象の説明会などのときの託児。
- ・ 授業参観のときの託児。
- ・ 町行事の際の団体託児。
- ・ 幼稚園、小学校の行事にあわせて学童保育を実施。
- ・ 講演会では、託児ボランティアを実施。
- ・ 保健所行事のときの託児。

#### (2)食育・料理教室(8件)

- ・ 親子の食育教育。親子の料理教室。
- ・ おやつ作り、食育。
- ・ 健康料理教室。
- ・ 子どものための料理講習。
- ・ 児童館と幼稚園で食育ボランティア。
- ・ 母親料理実習や母親学級の時の子守。
- ・ ふれあい料理づくり。
- ・ 幼稚園、児童センターで食育を指導。

#### (3)芸術・伝統文化(4件)

- ・ 芸術鑑賞事業の実施。
- ・ 公民館で子どもと踊りの練習。
- ・ 公民館で子どもと趣味や伝統的な活動をやっている。

#### (4)環境・リサイクル(2件)

- ・ 親子リサイクル教室の実施。
- ・ 町内の子どもと昔話、環境問題を話している。

#### (5)読み聞かせ(1件)

- ・ 図書の読み聞かせ。

#### (6)スポーツ(1件)

- ・ 野球の地域の指導者と連携してスポーツ教室。

#### 10. その他(48件)

- ・ 入園前の子どもとふれあいサロン。
- ・ 転居者に対し幼稚園の情報を提供。
- ・ 支援センターが保育園のなかに一緒にある。
- ・ 週に一度おはようの声かけに登園時間に行く。
- ・ 自治体の協力で、町の子育て広場の立ち上げ。就学前を対象に月2回実施。
- ・ 教委、幼稚園、福祉事務所、保育園などの連携で「子育て支援マップ」「子育て支援メニュー」づくり。
- ・ 市の担当課を通じて幼稚園、保育所と連携。

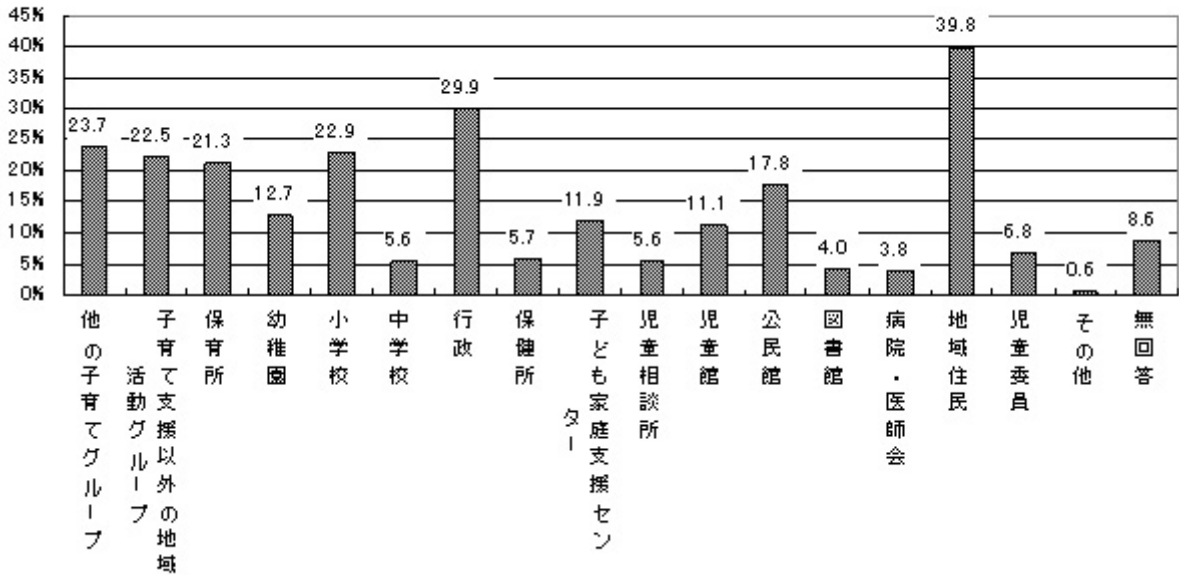
- ・ 保育所、幼稚園に誰でも連れて行けるボランティアセンターがある。
- ・ 子育てサークルを月1回保育園で開催。
- ・ 幼児教室。
- ・ 幼児クラブ活動に参加。
- ・ 幼児誘拐防止劇の公演。
- ・ 子育て支援事業が市保育園中心に始まり、支援関係者による合同運動会を実施。
- ・ 体験学習とふれあい教室。
- ・ 土曜日に子どもと遊ぶ。子どもの様子がおかしいときは学校へ知らせる。
- ・ 学校5日制の地域事業に協力。
- ・ 家庭教育学校をPTAの中につくり、学習、ワークショップを実施している。
- ・ 家庭教室学級で親の悩みや話し合いを実施。
- ・ 子育て推進モデル地区として空き教室を利用した事業。
- ・ 体育館の使用。
- ・ 不登校の生徒と家庭のパイプ役。
- ・ 不登校の生徒の悩みを聞く。
- ・ 中学校と学社融合活動。学校で子育て広場を実施。
- ・ 中高生対象保育サポーター講座の講師派遣。
- ・ 子ども会の行事として年6回「わんぱく広場」の実施。
- ・ 子どもを育てる推進会がある。プレイパークの開催、子育て出前講座、講演会など。
- ・ 体育指導員と連携して自然教室。
- ・ 月1回の活動、行政主催の子育て支援活動に参加。
- ・ 出前保育を年に数回。
- ・ 土曜日に子どもと活動。
- ・ 夏休みを利用した親子ふれあいの場づくり。
- ・ 敬老会への子どもを招待。
- ・ 研修会、講演会。
- ・ 講演会チラシの配布。
- ・ 子育てサポーター養成講座では地域の保育関係者、医師、保健師などに講師を依頼し、情報交換、アドバイスをもたらえる関係づくりができています。
- ・ 子育て支援ボランティアとの話し合い活動。
- ・ 子育て支援連絡協議会への参加。
- ・ 子ども会活動の援助。
- ・ 児童館で図書の貸し出し。手芸、工作。
- ・ 市民会館でのお話会。
- ・ 社協登録者との連携。
- ・ 授業ボランティア。通信の配布。
- ・ 地域活動の中に子どもたちを取り入れている。
- ・ 非行防止のための夜間パトロール。
- ・ 保健師、民生委員と連絡をとり、問題を抱えた親の支援を行っている。
- ・ 母子推進員、保育士が、月1回、「すくすく」広場を開催。その中には、元教員、主任児童委員、児童委員、ヘルパー、保健師などがいる。
- ・ 毎日公開される子育て支援ルームへの参加。
- ・ 幼、小、中、高との懇談会。

#### 4. 今後連携を強めたい他団体について

子育て支援の取り組みを進めていくにあたって、今後連携を強めていきたい団体等について尋ねたところ、「地域住民」が39.8%で最も多く、「行政」(29.9%)、「他の子育てグループ」(23.7%)、「小学校」(22.9%)、「子育て支援以外の地域活動グループ」(22.5%)、「保育所」(21.3%)があげられている。

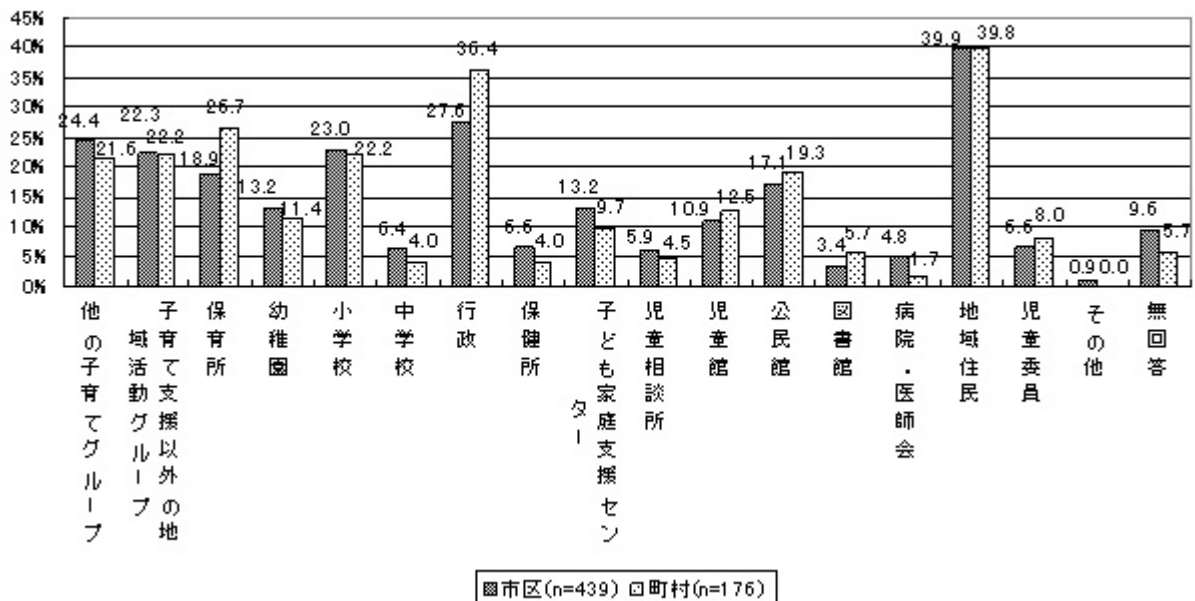
「病院・医師会」(3.8%)、「図書館」(4.0%)、「中学校」(5.6%)、「児童相談所」(5.6%)、「保健所」(5.7%)、「児童委員」(6.8%)は1割以下だった。(図表4-1-15)

図表4-1-15 連携を強めていきたい団体等 (複数回答(3つまで) n=628)



居住地別にみると、市区部と町村部で違いがみられたのは、「保育所」(市区18.9%、町村26.7%)と「行政」(市区27.6%、町村36.4%)で、いずれも町村部での割合のほうが市区部より高かった。(図表4-1-16)

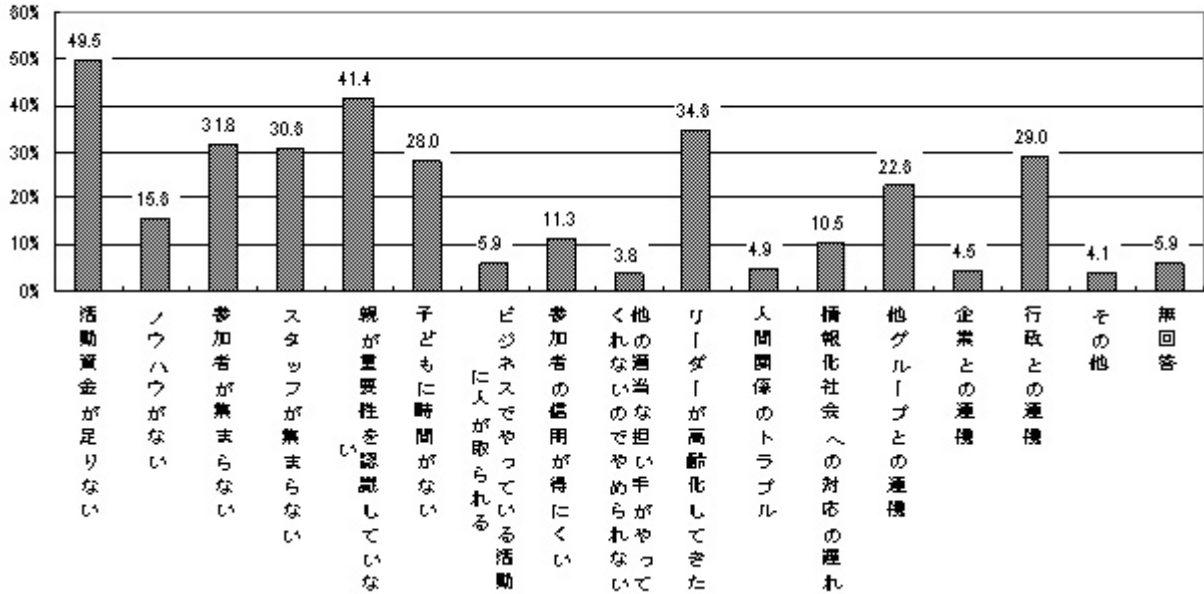
図表4-1-16 連携を強めていきたい団体等【居住地別】 (複数回答(3つまで))



### 5. 活動上の悩み・問題点について

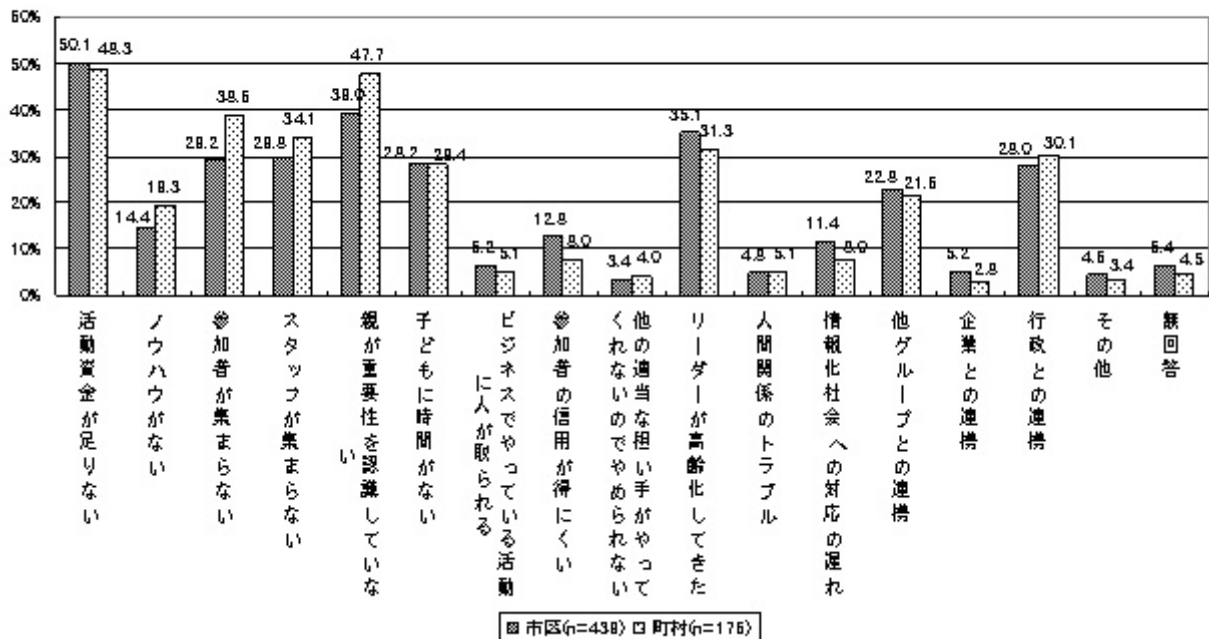
活動を進めるにあたっての悩み・問題点については、「活動資金が足りない」が49.5%と最も多く、次いで「親が重要性を認識していない」(41.4%)、「リーダーが高齢化してきた」(34.6%)、「参加者が集まらない」(31.8%)、「スタッフが集まらない」(30.6%)などが多くなっている。(図表4-1-17)

図表4-1-17 活動をすすめるにあたっての問題点 (複数回答(5つまで) n=628)



居住地別にみると、市区部と町村部で違いがみられたのは、「参加者が集まらない」(市区29.2%、町村38.6%)と「親が重要性を認識していない」(市区39.0%、町村47.7%)だった。いずれも町村部での割合のほうが高かった。(図表4-1-18)

図表4-1-18 活動をすすめるにあたっての問題点【居住地別】 (複数回答(5つまで))



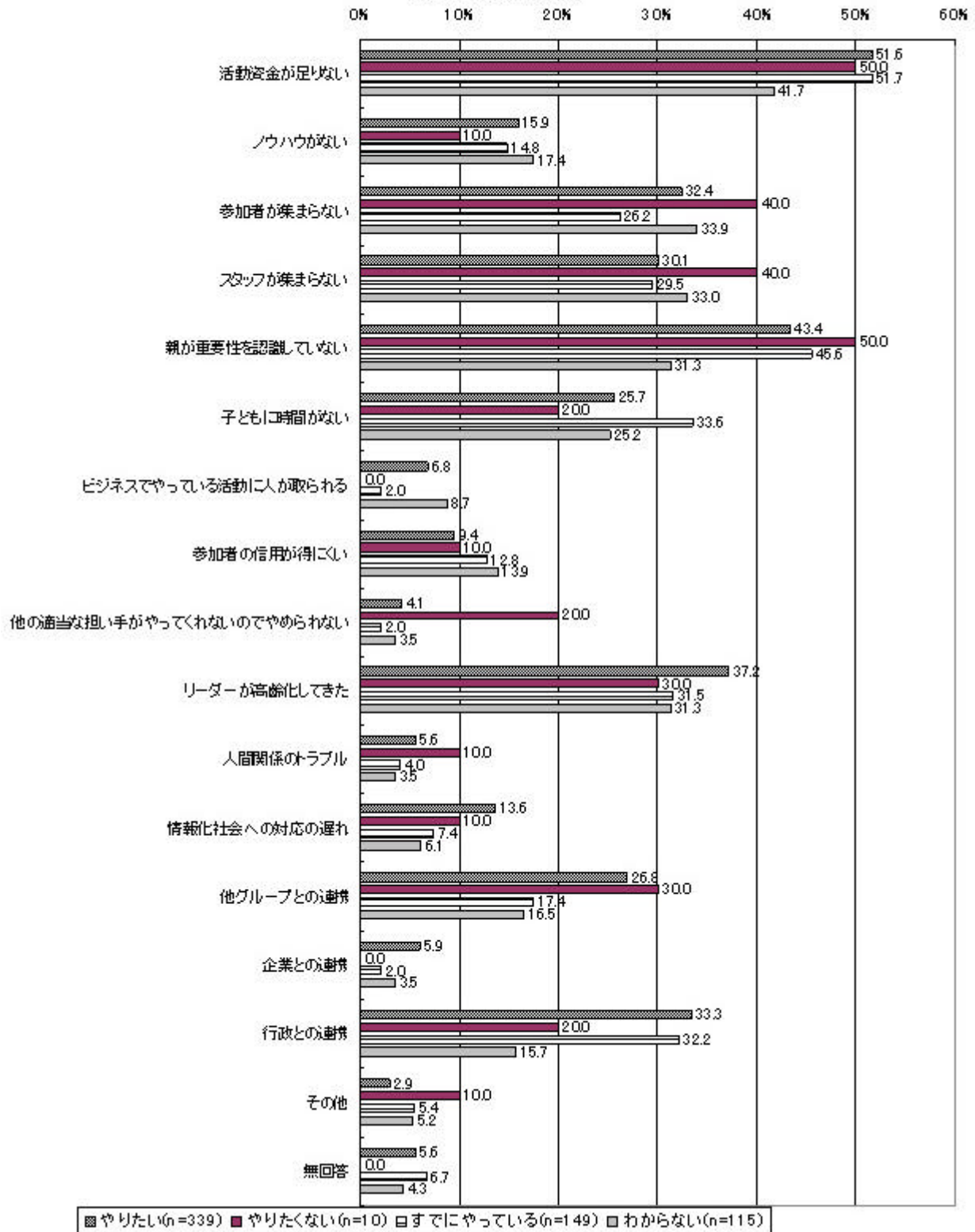


活動上の悩み・問題点について、これを保育・教育関係施設とのネットワーク・協働の希望別にみると、今後保育・教育施設と協働して取り組んでいきたいと回答しているところと協働したくないと回答しているところで違いがみられたものがいくつかあった。協働したいほうの割合が高かったものは、「行政との連携」(協働したい33.3%、協働したくない20.0%)、「リーダーが高齢化してきた」(協働したい37.2%、協働したくない30.0%)、「子どもに時間がない」(協働したい25.7%、協働したくない20.0%)などであった。

一方、協働したくないほうの割合が高かったものは、「スタッフが集まらない」(協働したくない40.0%、協働したい30.1%)、「参加者が集まらない」(協働したくない40.0%、協働したい32.4%)、「親が重要性を認識していない」(協働したくない50.0%、協働したい43.4%)、「他グループとの連携」(協働したくない30.0%、協働したい26.8%)などであった。

(図表4 - 1 - 19)

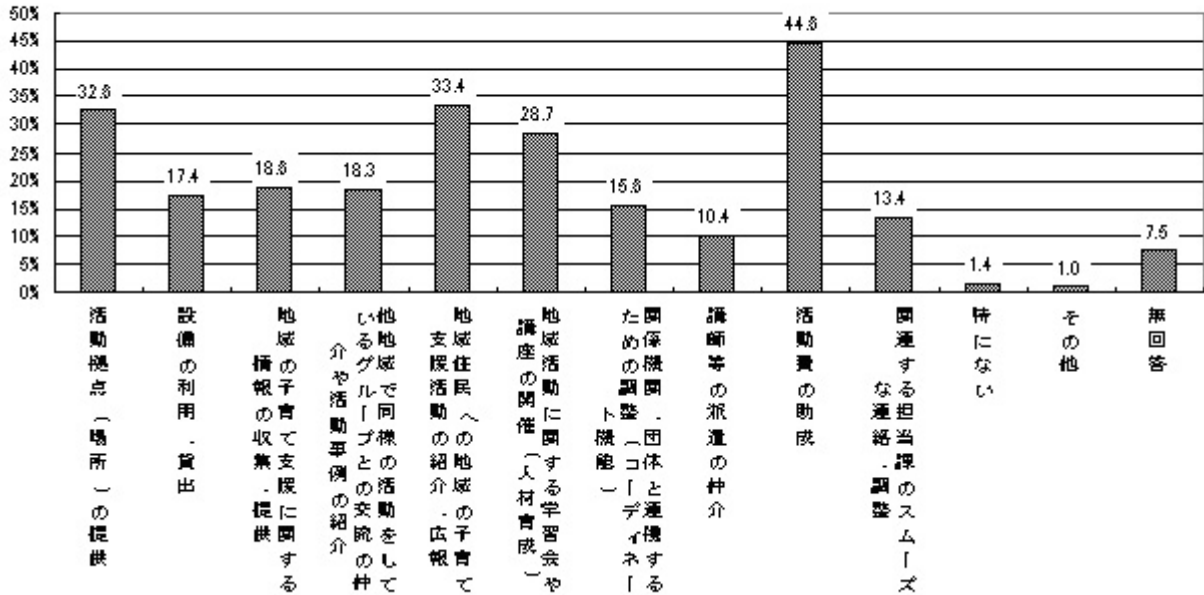
図表4-1-19 活動をすすめるにあたっての問題点【ネットワーク・協働の希望別】  
(複数回答(5つまで))



## 6. 行政に求めたい支援について

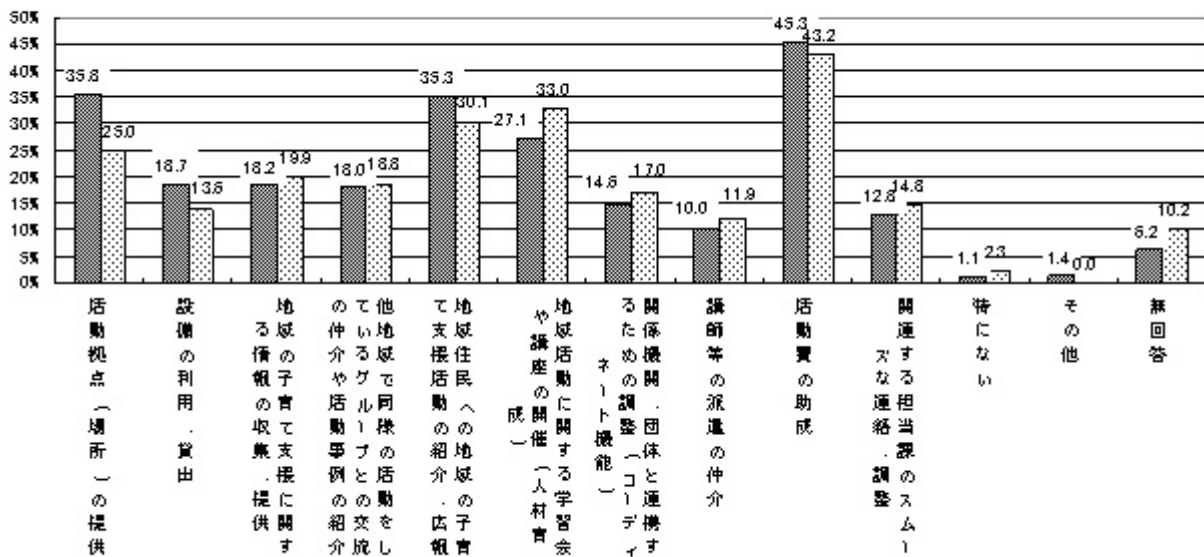
行政に求めたい支援については、「活動費の助成」が44.6%で最も高かった。次いで、若干開きがあるが、「地域住民への地域の子育て支援活動の紹介・広報」(33.4%)、「活動拠点(場所)の提供」(32.6%)などがあげられている。(図表4-1-20)

図表4-1-20 行政に求めたい支援策 (複数回答(3つまで) n=628)



居住地別にみると、市区部と町村部で違いがみられたのは、「活動拠点(場所)の提供」(市区35.8%、町村25.0%)と「地域住民への地域の子育て支援活動の紹介・広報」(市区35.3%、町村30.1%)が市区部の割合が高く、「地域活動に関する学習会や講座の開催(人材育成)」(町村33.0%、市区27.1%)が町村部の割合が高かった。(図表4-1-21)

図表4-1-21 行政に求めたい支援策【居住地別】 (複数回答(3つまで))



■市区(n=439) □町村(n=176)